

長い夏休みもあっという間に終わり、2学期が始まりました。楽しい夏休みは過ごせたでしょうか。子どもたちの元気な姿を見ることができ、とても嬉しく思っております。夏休みの思い出もたくさん教えてくれましたよ。

久しぶりの登園に少し緊張している子、ワクワクしている子もいると思います。まずは、生活リズムを取り戻せるよう保育者からも声をかけ、かかわりながら過ごして参りたいと思います。

入園してからあっという間の1学期でしたが、いろいろなことができるようになりました。朝、保護者の方と離れるのが寂しく、泣いている子もいましたが、笑顔で挨拶ができるようになりました。

朝のお仕度やお給食のお仕度も身に付き、一人でできるようになりました。遊びでは、「かして」「いいよ」などお友だちに言葉で伝えることができるようになり、お友だちに教えてあげられる子もいます。また、製作ではのりやはさみを使うなど、様々なことにチャレンジしました。

2学期は大きな行事として運動会があります。年少組は、かけっこダンスと親子競技を行います。ダンスの曲もみんなで決めました。これから少しずつ練習を行っていきます。運動会の練習を通して、お友だちと一緒に体を動かすことの楽しさを味わうことができればと思っています。まだ暑い日が続いていますので、しっかりと水分補給や休息の時間を取り、体調面にも気を配りながら過ごして参ります。また、2学期も引き続きマスクや消毒など感染対策を行って参りたいと思います。



2学期も楽しいことがたくさん待っています。元気いっぱいにお過ごししましょう。

どうぞよろしく願いいたします。

(年少組チーム担任 慶徳朱保)



直前インフォメーション

○引き取り訓練

9月9日(金) 緊急時のお迎え訓練です。HPに手紙をアップしておりますのでご確認ください。

○水遊びについて

9月中も水遊びを行います。プールバックをお持ちください。9月も水遊びカードの提出をお願いいたします。

年少組は、9月6日(火)・13日(火)を予定しております。変更となる場合もございますのでご了承ください。

また、1学期にお知らせいたしました、絵の具を使用した活動を予定しておりますので、**汚れてもよいTシャツ・ズボン**をまだお持ちでない方はご用意をお願いいたします。

○運動会

10月8日(土) 詳細は後日、HPに手紙をアップいたしますのでご確認ください。

○衣替え

10月3日(月)~14日(金) 移行期間です。夏服、冬服どちらでも可能です。17日(月)より全員冬服での登園となります。

○芋ほり遠足

前回の学年だよりにも記載をしておりますが、年少組は体力面を考慮し、園内にてお楽しみを行います。



9月の目標

- ・生活リズムを思い出し、自力行おうとする
- ・様々な運動遊びを通して、のびのびと身体を動かしながら、保育者や友だちと一緒に活動する楽しさを味わう

9月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

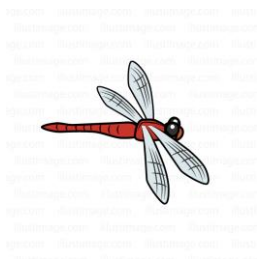
ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪とんぼのめがね

作詞 額賀 誠志

作曲 平井 康三郎

- 1, とんぼのめがねはみずいろめがね
あおいおそらをとんだから とんだから
- 2, とんぼのめがねはびかびかめがね
おてんとさまをみてたから みてたから
- 3, とんぼのめがねはあかいろめがね
ゆうやけぐもをみてたから みてたから



♪むしのこえ

作詞 作曲 文部省歌

- 1, あれまつむしがいない
ちんちろちんちろちんちろりん
あれすずむしもなきだした
りんりんりんりんりんーりん
あきのよながをなきとおす ああおもしろい
むしのこえ
- 2, きりきりきりきりこおろぎや
がちやがちやがちやがちやくつむし
あとからうまおいおいついて
ちょんちょんちょんすいっちょん
あきのよながをなきとおす
ああおもしろいむしのこえ



9月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

・「たまごにいちゃん」

作・絵：あきやただし

出版社：鈴木出版

本当はもう、たまごから出ているはずのたまごにいちゃんは、ずーっとたまごでいたいと思っていました。だって、たまごだったらお母さんにあたためてもらえるから。ところがある日、たいせつなたまごのからにひびが入ってしまって…。

シリーズがたくさんある絵本です。ぜひ読んでみてください。



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。
ぜひ、ご家庭でも行ってくださいね。



～お月見について～

十五夜は、一年の中で一番きれいなまんまるの満月が見える日のことです。
毎年日にちが変わり、今年の十五夜は、9月10日です。

十五夜には、お団子やお餅、ススキや里芋などをお供えて、
お月様を眺めることを「お月見」といいます。



お月見には、たくさんのおいしい食べ物が食べられることへの「ありがとう」の気持ちと、
これからもおいしい食べものが食べられますようにという「願い」が込められています。

お月见到だんごやお餅は欠かせませんが、月と同じく丸いだんごをお供えし、それを食べることで、健康と幸せが得られると考えられているからです。十五夜では、十五にちなんで一寸五分（約4.5センチ）の大きさのおだんごを15個お供えます。また、1年の満月の数と同じで12個（閏年には13個）、15を簡略して5個にする場合もあります。

～月見団子を作ってみよう～

用意するもの

- ・上新粉 200g
- ・ぬるま湯 200cc

月見団子の作り方

- ①上新粉をボールに入れ、ぬるま湯を少しずつ注ぎながら木べらで混ぜていきます。
- ②手のひらに水をつけて練り、耳たぶぐらいの硬さになるまで続けます。
- ③生地を5等分し、手でひとつずつ丸めて団子にします。
- ④大きな鍋にたっぷりとお湯をわかし、団子をそっと入れて茹でます。
- ⑤団子が浮かんでから2～3分茹で、ざるにすくい上げます。
- ⑥流水で洗ったあと、水を切ります。

お供えが終わった団子は、つぶすか薄く切ってから焼いてきなこや砂糖醤油などをつけて食べるとおいしいです。また団子を作るとき、上新粉に砂糖を少し混ぜておいて生地自体にほんのりと甘みを足しておくのもおすすめです。

日本から眺めた月は、「ウサギが餅つきをしているように見える」と言われています。
ぜひ見てみてください！

